

令和5年度

事業報告書

ニセコ福祉会

P. 1～3

特別養護老人ホームニセコハイツ

P. 4～13

ニセコ町デイサービスセンター

P. 14～21

居宅介護支援事業所

P. 22～24

ぐる～ぷほ～む きら里

P. 24～29

社会福祉法人 ニセコ福祉会

令和5年度 理事会・評議員会開催報告

○理事会			
開催日	出席理事数	出席監事数	主 な 審 議 事 項
R5. 5. 23	4	2	・ 令和4年度第4・四半期監査報告について ・ 令和4年度社会福祉法人ニセコ福祉会各拠点会計収支決算認定について ・ 令和4年度社会福祉法人ニセコ福祉会事業承認について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会評議員会議の開催日程について
R5. 5. 25	6	2	・ 社会福祉法人ニセコ福祉会理事及び監事の選任について（書面決議）
R5. 6. 13	5	2	・ 社会福祉法人ニセコ福祉会理事及び監事の選任について ・ 理事長の選定について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会調理部門の外部委託について
R5. 9. 14	6	2	・ 令和5年度第1・四半期監査報告について ・ 令和5年度後志広域連合地域密着型サービス事業所運営指導結果について ・ ニセコ町委託事業「社会福祉法人ニセコ福祉会収益改善計画」の経過について ・ 外国人雇用について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会補助金申請について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会再雇用規定の一部改正について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会給与規定の一部改正について
R5. 12. 28	5	2	・ 令和5年度第2・四半期監査補報告について ・ ニセコ町委託事業「社会福祉法人ニセコ福祉会収益改善計画」の経過について ・ 令和5年度社会福祉法人ニセコ福祉会拠点会計1次補正予算（案）について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会ぐるーぷほーむきらり運営規定の一部改正について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会備品購入及び設置工事並びに指名競争入札について
R6. 3. 29	6	2	・ 令和5年度第3・四半期監査報告について ・ ニセコ町委託事業「社会福祉法人ニセコ福祉会収益改善計画」の経過について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会備品購入及び設置工事結果について ・ 給湯及び暖房ボイラー故障について ・ 令和5年度社会福祉法人ニセコ福祉会各拠点会計第2次補正予算（案）について ・ 令和6年度社会福祉法人ニセコ福祉会事業計画（案）について ・ 令和6年度社会福祉法人ニセコ福祉会各会計予算（案）について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会職員給与規程及び各事業所運営規定の一部改正について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会各事業所業務継続計画（案）について

開催日	出席評議員数	出席理事・監事数	主 な 審 議 事 項
R5. 6. 13	7	4	・ 令和4年度社会福祉法人ニセコ福祉会各事業報告について ・ 令和4年度社会福祉法人ニセコ福祉会各拠点会計収支決算について ・ 社会福祉法人ニセコ福祉会の理事・監事の選任について

○地域貢献事業報告

1、身体障害のある町民への入浴支援

- ・自宅で入浴が困難となった身体に障害を持った方を、火曜日、金曜日の週二回、ニセコハイツの特殊浴槽使用した入浴及び送迎を行った。

○補助金等状況報告

(単位円)

交付団体	対象事業所	助成内容	助成金額
北海道労働局	本部	特定求職者雇用開発助成金	300,000
北海道労働局	本部	特定求職者雇用開発助成金	300,000
ひまわり財団	本部	社会福祉法人対象助成金	50,000
北海道	ニセコハイツ	緊急時介護人材確保・環境復旧等支援事業費	9,404,000
北海道国保連	ニセコハイツ	介護施設等物価高騰対策支援金	500,000
後志総合振興局	ニセコハイツ	令和5年度結核予防事業補助金	13,156
社)日本労働安全衛生コンサルタント	ニセコハイツ	令和5年度エイジフレンドリー間接補助金	126,000
ニセコ町	ニセコハイツ	サーモバブル交換工事事業補助金	490,710
ニセコ町	ニセコハイツ	介護福祉サービス事業者燃油等高騰特別対策給付金	3,600,000
ニセコ町	ニセコハイツ	冷房設備設置工事事業補助金	1,452,000
北海道国保連	ニセコハイツ	介護施設等物価高騰対策支援金	320,000
北海道	ニセコハイツ	令和5年度介護ロボット導入支援補助金	18,425,000
北海道国保連	短期入所	介護施設等物価高騰対策支援金	100,000
北海道国保連	短期入所	介護施設等物価高騰対策支援金	64,000
北海道	短期入所	令和5年度介護ロボット導入支援補助金	3,684,000
北海道国保連	デイサービス	介護施設等物価高騰対策支援金	150,000
ニセコ町	デイサービス	浴室手すり設置工事事業補助金	572,000
北海道国保連	デイサービス	介護施設等物価高騰対策支援金	66,000
ニセコ町	居宅介護支援	居宅介護支援事業所運営事業補助金	3,276,000
北海道国保連	居宅介護支援	介護施設等物価高騰対策支援金	50,000
ニセコ町	きら里	認知症高齢者グループホーム運営事業補助金	7,278,000
ニセコ町	きら里	ニセコ福祉会ぐるーぷほーむきら里修繕補助事業補助金	625,900
北海道国保連	きら里	介護施設等物価高騰対策支援金	180,000
北海道	きら里	緊急時介護人材確保・環境復旧等支援事業費	3,523,000
北海道国保連	きら里	介護施設等物価高騰対策支援金	115,200
合計			54,664,966

ニセコ福祉会事業報告

(1) 基本方針

入所者及び職員が生き生き安心して生活できるように、社会福祉法人ニセコ福祉会が定めている「法人理念」、「基本方針」並びに「職員心得」を遵守し、豊かな明るく楽しい施設作りを目指します。

(2) 基本計画

1. 経営基盤の安定強化

安定した介護報酬の確保に努めると共に、有利な助成事業等を活用し、経費の圧縮に努め経営基盤の強化を図ります。

○新規利用者を出来るだけ円滑に入所出来るように調整し、介護報酬の確保に努めました。又、助成金事業を積極的に活用しました。

2. 職員の資質向上

老人福祉施設協議会等が主催する各種研修に積極的に参加し、また内部研修を実施し、専門職としての資質を高め、サービスの向上に努めます。

○外部研修は参加できる研修はオンデマンドで受講し、内部研修は毎月WEB研修を行ないました。

3. 地域連携と社会貢献

地域の公益的な取組として、福祉会の持つ介護技術を町内や広域で開催される研修会等を通じ普及に努めるとともに、高齢者や身体に障がいを持つ方に介護支援を行うなど社会貢献と介護活動の普及を図ります。

○研修会は開催されなかった。ニセコ町在住の身体に障害をもった方に週二回ニセコハイツの特殊浴槽を使用した入浴介助及び送迎を行ないました。

4. 人材の確保と外国人労働者の受入

看護職員や介護職員が不足している現状を改善するため、積極的に高校訪問を実施し新卒者の採用や、子育て等により、資格はありながらも施設等に勤務していない人材の掘り起こしをするとともに、新たに外国人労働者の採用を検討をします。

○新卒者の採用、人材の掘り起こしは出来なかったが、外国人介護員3名を採用しました。

特別養護老人ホームニセコハイツ事業報告

(1) 基本方針

入所者が安心して生活できるように、全職員が「人間尊厳」の基本精神を徹底するなかから、福祉の原点である「共に生きる」姿勢の実現を目指すことを基本として、入所者、家族、職員が一体となり、家族的で人間関係の豊かな明るく楽しい施設作りを目指します。

(2) 基本計画

1. 安全・安心なサービスの提供

ヒヤリハットの分析を活かした事故防止を行うと共に、身体拘束ゼロの取り組みを積極的に進めます。

○事故対策委員会でヒヤリハット及び事故報告書の内容を精査し、今後の事故防止に努めました。又、身体拘束を行なっているかいないか、身体拘束が必要か必要でないか等、適時身体拘束委員会で検討し、身体拘束ゼロに取り組みました。。

2. 家族交流

家族と接する機会が少ない入居者に対して、家族との絆が薄れていかないよう、家族会や地域訪問など積極的に行っていきます。

○家族会や地域訪問等は出来なかったが、玄関に面会スペースを設け、アクリル板なしでの面会を行った。

3. 安全と環境保全

明るく快適な施設環境を提供する為、施設内外の保全に努めると共に環境の充実に努めます。また、火災などから入居者を守る為の避難訓練の実施、災害に備えて非常食の整備を行い安全な施設作りに努めます。

○ヒヤリハットの分析を活かした事故防止を行うと共に、身体拘束ゼロの取組を積極的に進めました。避難訓練は実施。

(3) 介護計画

利用者一人一人の思いに寄り添い、本人の出来る事が少しでも長く継続して頂けるよう援助いたします。

施設での生活が安心して穏やかな場所である為に、その方に応じた適切な介護サービスを専門的な知識と技術を持って提供いたします。

介護職員同士や他職種との連携を密にし、より良い介護サービスの提供に取り組んでまいります。感染状況により、家族との交流や外出に制限が必要になった場合でも利用者が少しでも楽しんで頂けるよう、施設内行事を計画してまいります。

1. おいしく食事ができるケアの提供

利用者の嗜好や状況に応じて、必要な栄養をおいしく、楽しく、安全に摂っていただけるケアを提供します。

「おいしく食べていただく」ことをモットーに、食事の時間を大切に、援助の方法、食材形状等をはじめ、姿勢や椅子、テーブルの高さ等の環境。にも配慮したケアを他職種とも連携した中で提供します。

誤嚥を予防するため、常にご利用者様の状況を把握し、形状や嚥下補助剤等の検討を行い安全に安心して食べていただけるケアを提供します。

脱水や低栄養を予防するため、ご利用者様の嗜好や健康状態に合わせた飲み物や栄養のバランスを考えた食事を提供し、必要な量を安全に確実に摂取していただけるケアを提供します。

「嚙む」「飲み込む」等の機能が維持でき、できるだけ長い期間自分で口から食事ができる生活を支えるケアを提供します。

看取り介護の対象となった利用者様が、最後まで食べたいものや食べられるものを栄養係、看護係と調整し提供します。

○モニタリング、ケアカンファレンス等の会議で、利用者にあった援助の方法、食材形状、食事環境を検討し提供しました。又、最期まで食べたい時に食べられる物、飲みたい時に少しでも飲んで頂けるように看護係、栄養係と連携し、状態に応じた食べ物を提供しました。

2. 気持ちよく入浴できるケアの提供

利用者の体調や状況に応じて、安全で、気持ちよい入浴をしていただくことで清潔な身体が維持でき、気分よく過ごせる生活を支えるケアを提供します。

「気持ちよくお風呂に入ってください」ことをモットーに、入浴介助の方法や安全に配慮した浴室、脱衣室等の環境づくりを他職種とも連携した中で提供します。

安全に入っていただくために、看護職とともに健康状態を確認し、身体状況やご本人の希望に沿った入浴形態や介助方法を考慮したケアを提供します。

気持ちよく入っていただくために、入浴剤や洗剤の検討、浴室等の温度調整やプライバシーに配慮したケアを提供します。

入浴時の利用者の動きや、皮膚の状態から、身体機能や健康状態の把握に努め、清潔で健康な日常を送れるようにケアを提供します。

看取り介護の対象となった利用者様が、最後まで清潔を保持できるよう体調に考慮し、入浴や清拭をおこなってまいります。

○モニタリング・ケアカンファレンス等の会議で、利用者様にあった入浴方法を検討し提供しました。又、看取りの利用者様を最後まで入浴や清拭を行い清潔保持に努めました。

3. 気持ちよく排泄できるケアの提供

利用者の体調や状況に応じて、適切な介助の方法や物品を選択することで気持ちよく排泄ができ、排泄リズムを整えることで、健康で落ち着いた生活が送れるようにケアを提供します。

「気持ちよくすっきり排泄していただく」をモットーに、排泄介助の方法や必要物品の準備、トイレ等の環境や安全、プライバシーに配慮したケアを提供します。

利用者の身体機能をアセスメントし、可能な限り座位が取れ自然な排泄ができるようにすると共に、便秘等は他職種とも連携し体調管理に必要なケアを提供します。

失禁による気持ち悪さや失敗による羞恥心に配慮し速やかに対応します。

尿汚染による皮膚トラブル（ただれ、褥瘡）や、便秘、排尿トラブルで不快な思いや病気にならないように排泄の確認をし、元気で気分よい毎日が送れるようにケアを提供します。

○モニタリング、ケアカンファレンス等の会議で、利用者にあった排泄介助方法を検討し提供しました。又、利用者の状態に応じたオムツの選択を行い、可能な限り日中はトイレでの排泄を促し、皮膚トラブルを防ぎました。

4. 安楽な体位と環境整備

利用者の今までの生活、暮らしを考慮し、また体調や状況に応じて、安全で快適な日常を送れるようなケアを施設全体で提供します。

「安心して穏やかに過ごしていただく」をモットーに、生活空間やしつらえの工夫、プライバシーに配慮した居住環境を整え、安心・安全で楽しく暮らせる人間関係が築けるよう、各職種と連携、協力し、利用者や家族が安心し、心穏やかに、豊かな日常を送れるようなケアを提供します。

臥床時間の長い利用者様に対し、褥瘡を作らないよう定期的な体位変換と、クッション等を用いて安楽保持に努めます。

○モニタリング、ケアカンファレンス等の会議で、利用者にあった居住環境を検討して提供しました。又、状況に応じて居室や食席を変更し、安心して生活してもらえるよう対応しました。

5. 利用者に安心していただけるケアの提供

介護職員の資質の向上を目的とし、各ユニットより委員を選出し利用者に提供するケアの向上を目指します。

事故対策検討委員・身体拘束適正化検討委員・安全衛生委員・感染委員・レク委員・研修委員は各会議で決まった事を全職員に周知し、統一した意識の共有化を図ります。

ケア向上の為の外部研修に積極的に参加し、知り得た情報を会議などで発表し、知識の共有に努めます。

又インターネットを利用したWEB研修を、年間を通して実施します。

○各委員会を開催し、委員会で決まったことを全職員で共有しました。研修は毎月WEB研修を実施しました。

（4）看護計画

高齢者の生活を維持するための予防的ケアと生活環境の整備、身体・精神的状況を総合的に把握して早期介入していきます。

疾病に対しては速やかな医師への報告といずれは訪れる最期の時を利用者・家族が穏やかでいられるよう、介護職と連携して安全で安心して過ごせる看護を提供いたします。

1. 予防的ケアを行い、健康を維持しながら日常生活を送れるよう支援いたします。

① 皮膚の健康維持に努めます

高齢者の皮膚の変化の特徴を理解し、乾燥や皮膚の脆弱に対しての対応と褥瘡予防、皮膚トラブルを起こさない日常生活動作を把握し予防に努めます。

○入浴や排泄介助から皮膚状態を観察し、早期に対応しました。皮膚トラブル、褥瘡発生に対して医師へ報告し、介護職と協力し改善に努めました

② 誤嚥性肺炎を予防します

誤嚥肺炎を予防するために口腔内を清潔に保ち、頸部聴診法実施により摂取時の姿勢、食形態、嚥下状態のアセスメントと評価を行い、歯科医師・介護職・栄養士・厨房職員と連携し口から食べる楽しみを維持できるように援助します。

○食事摂取状態、摂取量、むせなどから、嚥下状態を把握し「食べる」ことが続けられるよう支援しました。

③ 身体機能低下を緩徐にするケアを行います

今ある機能を維持するために、生活リハビリを取り入れ、身体機能低下を防いで自立した生活が続けられるように支援します。

○「できる所は見守る」を意識し、更衣、車椅子移動、トイレ排泄など介護職と声かけをしながら実施していききました。

2. 感染予防を行い、利用者様が安心して過ごせる生活の場を提供します。

集団感染を予防するため、標準予防策に基づいた感染対策を行っていきます。

感染発生時には感染拡大防止、感染者への対応等「感染対応マニュアル」に沿って速やかに対応していきます。

○感染予防は利用者とも協力して行うことができ、感染を疑う場合は早期に対応し発生を防ぐことができました

3. 日常生活の中で起こる危険性を察知して、安全な環境を提供します。

施設内で起きる危険性をアセスメントして、介護職と情報共有しながら、転倒・転落、誤嚥・誤薬などの事故を予防し安全に過ごせる環境の提供とケアを行います。

○事故防止に向けて介護職と話し合い、対応策を検討して、安全な環境作りを意識しました。

4. 最期までその人らしい看取り介護を行います

「特別養護老人ホーム ニセコハイツ 看取り介護指針」に沿って利用者が安心して最期を迎えられるよう、また御家族様へは細やかな説明と配慮を行い、医師・介護職と連携し「その人らしい最期」が迎えられるような看取り介護を提供します。

○利用者、家族にとっての「その人らしい最期」を意識して、介護職とともにケアを考えて行いました。

(5) 給食計画

介護老人福祉施設の給食は、利用者の経歴、食習慣、嗜好面に個人差が大きいことその他に、疾患、老化に伴う種々の現象も考慮することが必要です。

栄養ケアマネジメントを実施し、利用者ごとに個別の栄養ケア計画を立て、定期的にモニタリングを行い、多職種と共同し、できるだけ口からの食事摂取が維持できるよう努めます。

また、食事の提供は、栄養並びに利用者の身体の状態及び嗜好を考慮したものとするとともに適切な時間に提供します。

これらの視点とともに、運営会議や給食会議の意見を献立に反映させ、喜んで頂けるメニューの提供に努め、利用者の健康管理を行っていきます。

○多職種と連携し加算対応しました。完全調理品ではありますが、個別対応も可能な限り行えました。しかし、嗜好に対応し、利用者に喜んでいただけるメニューを提供できたとは言えません。

1. 嗜好を尊重する

栄養所要量の確保も大切であるが、食べるという事が重要です。また、利用者にとって食事は大きな楽しみであるので、出来るだけ希望に添うように努めます。

嗜好調査書を元に嗜好調査を行ったり、残菜調査を行ったりして利用者の日常の喫食状況を給食に反映させていきます。

○ミールラウンドでの観察によって嗜好を把握するように努め、残菜調査についても重さだけでなく、目視によっても確認しましたが、完全調理品のため、給食には反映できたとはい切れず、可能な限りの対応に留まりました。

2. 行事食の充実

年中の行事食を取り入れることによって食事に対する楽しみや喜びの期待を持てただけるよう努めます。お楽しみ食を始め、夏には野外食を行い、自然の中で食事を楽しみ、季節に応じた食事をして頂くなど様々な工夫を取り入れていきます。

○野外昼食会では職員が野外で肉を焼いてるところをご覧いただいたり、楽しんでいただけたのではないかと思います。調理できる人員が満たない状態でも、可能な範囲での行事食の提供は行えたと考えています

3. 献立作りの配慮

多くの食品が年中出回り、季節感が失われがちですが、四季折々の旬のものを上手に利用することは、味覚を楽しんでいただくのと同時に栄養、価格の面でも有利であるので、なるべく、献立に取り入れられる様、調理員と協力して取組むように努めます。

○ハイツの畑から野菜を収穫したり、山菜の提供をいただいたり、季節の果物を提供し、四季を取り入れる工夫は可能な限りできたと考えております。

4. 調理形態の考慮

利用者の体力や運動能力の低下、消化・吸収力の低下、または、咀嚼・嚥下困難等利用者様個人に合わせた調理形態を考慮した食事を提供するように努めます。

○ミールラウンド、口腔維持加算、栄養マネジメント強化加算をとることにより、多職種と連携しながら、利用者のお食事に可能な限り対応できました。

5. 食中毒の防止

安全な食事を提供することは給食従事者の責任であるので、栄養士を中心に業務内容の改善を日々行い、調理員も含めて食中毒防止に対する意識の高揚に努めます。また、清潔・迅速を常に考え、衛生的に仕事を進めるよう注意を払っていきます。

○大量調理マニュアルに可能な限り準じた対応をするよう努めました。業務内容でも可能な限り、改善を図れるよう、話し合いをしました。勉強会や、施設外の研修はできませんでしたが、食中毒を起こすことなく、食事提供ができました。

令5年度 要介護度別入所者数

(人)

介護度 / 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平 均
要 介 護 1	7	7	8	8	8	6	6	6	6	4	4	3	6.1
要 介 護 2	7	7	7	6	5	6	6	6	6	7	7	7	6.4
要 介 護 3	17	17	16	16	17	14	13	12	11	12	12	12	14.1
要 介 護 4	9	10	10	9	10	10	10	9	11	9	7	8	9.3
要 介 護 5	7	7	7	8	8	11	11	13	13	12	12	13	10.2
計	47	48	48	47	48	47	46	46	47	44	42	43	46.1
平均要介護度	3.0	3.1	3.0	3.1	3.1	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	3.2

※該当月末時点で有効な要介護度で算出。小数点以下第二を四捨五入しています。定員50名超は入退所の重複。

令和5年度 特別養護老人ホーム月別利用実績

(延日)

介護度 / 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
要 介 護 1	191	217	218	248	248	180	186	180	186	124	116	93	2,187
要 介 護 2	210	217	208	162	155	180	186	180	180	196	203	217	2,294
要 介 護 3	470	478	480	471	465	396	403	360	341	372	334	372	4,942
要 介 護 4	270	296	300	279	310	300	310	270	323	258	203	248	3,367
要 介 護 5	205	217	210	248	248	330	341	390	379	362	348	372	3,650
計	1,346	1,425	1,416	1,408	1,426	1,386	1,426	1,380	1,409	1,312	1,204	1,302	16,440
稼働率	89.7%	91.9%	94.4%	90.8%	92.0%	92.4%	92.0%	92.0%	90.9%	84.6%	86.0%	84.0%	90.1%

※退所日は日数に含まない。入院・外泊期間は日数に含まない。

令和5年度 短期入所生活介護事業所 月別利用実績

(延日)

介護度/月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
要 支 援 1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
要 支 援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要 介 護 1	17	17	30	7	15	5	9	5	13	10	42	25	195
要 介 護 2	0	0	43	31	31	0	0	3	0	0	3	8	119
要 介 護 3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
要 介 護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要 介 護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	47	17	73	38	46	5	9	8	13	10	45	33	344
稼働率 (%)	15.7	5.2	24.3	11.5	13.9	1.7	2.7	2.7	3.9	3.0	16.1	10.0	9.4%

※該当月末時点で有効な要介護度で算出しています。

令和5年度 月別利用実績（特別養護老人ホーム+短期入所）

（人日）

月／年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
4月	1,519	1,611	1,514	1,500	1,547	1,583	1,482	1,306	1,469	1,511	1,493	1,393
5月	1,569	1,707	1,628	1,475	1,632	1,551	1,442	1,380	1,562	1,611	1,508	1,442
6月	1,557	1,655	1,569	1,355	1,566	1,532	1,420	1,327	1,564	1,588	1,475	1,489
7月	1,488	1,702	1,652	1,488	1,539	1,523	1,459	1,444	1,587	1,580	1,524	1,446
8月	1,509	1,716	1,711	1,485	1,556	1,601	1,462	1,489	1,551	1,517	1,523	1,472
9月	1,520	1,643	1,584	1,448	1,558	1,547	1,522	1,408	1,501	1,456	1,420	1,391
10月	1,648	1,721	1,655	1,520	1,659	1,553	1,510	1,475	1,566	1,557	1,525	1,435
11月	1,520	1,683	1,591	1,502	1,593	1,516	1,495	1,510	1,561	1,562	1,473	1,388
12月	1,561	1,697	1,570	1,533	1,676	1,553	1,440	1,582	1,680	1,661	1,415	1,422
1月	1,534	1,698	1,457	1,506	1,640	1,556	1,281	1,576	1,601	1,683	1,443	1,322
2月	1,432	1,454	1,395	1,405	1,452	1,424	1,182	1,480	1,454	1,534	1,276	1,249
3月	1,649	1,607	1,469	1,540	1,632	1,541	1,328	1,533	1,607	1,648	1,514	1,335
合 計	18,506	19,894	18,795	17,757	19,050	18,480	17,023	17,510	18,703	18,908	17,589	16,784

昨年比増減

-2,124

令和5年度 月別稼働実績（特別養護老人ホーム+短期入所）

（％）

月／年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
4月	84.4	89.5	84.1	83.3	85.9	87.9	82.3	72.6	81.6	86.2	82.9	77.4
5月	84.4	91.8	87.5	79.3	87.7	83.4	77.5	74.2	84.0	86.6	86.6	77.5
6月	86.5	91.9	87.2	75.3	87.0	85.1	78.9	73.7	86.9	88.2	88.2	82.7
7月	80.0	91.5	88.8	80.0	82.7	81.9	78.4	77.6	85.3	84.9	84.9	77.7
8月	81.1	92.3	92.0	79.8	83.7	86.1	78.6	80.1	83.4	81.6	84.6	79.1
9月	84.4	91.3	88.0	80.4	86.6	85.9	84.6	78.2	83.4	80.9	80.9	77.3
10月	88.6	92.5	89.0	81.7	89.2	83.5	81.2	79.3	84.2	83.7	83.7	77.2
11月	84.4	93.5	88.4	83.4	88.5	84.2	83.1	83.9	86.7	86.8	86.8	77.1
12月	83.9	91.2	84.4	82.4	90.1	83.5	77.4	85.1	90.3	89.3	89.3	76.5
1月	82.5	91.3	78.3	81.0	88.2	83.7	68.9	84.7	86.1	90.5	90.5	71.1
2月	85.2	86.5	83.0	80.7	86.4	84.8	70.4	85.1	86.5	91.3	91.3	71.8
3月	88.7	86.4	79.0	82.8	87.7	82.8	71.4	82.4	86.4	88.4	88.4	71.8
年平均	84.5	90.8	85.8	80.9	87.0	84.4	77.7	79.7	85.4	86.5	86.5	76.4

令和5年度 年間行事実績報告

	行 事 内 容
4 月	開設記念祝
5 月	子供の日、母の日、だんらん、ニセコ小学校運動会総練習見学
6 月	父の日
7 月	アイスの日、BBQ昼食会（屋外）、納涼花火大会
8 月	七夕、盆法要
9 月	敬老会、秋季法要、館内WAX替え、秋季法要、日中避難訓練
10 月	紅葉ドライブ、縁日、100歳受賞式
11 月	あそぶっく、だんらん、
12 月	あそぶっく、クリスマス会
1 月	あそぶっく、新年会
2 月	節分、だんらん
3 月	ひな祭り、春季法要
	※毎月 お楽しみ食を実施しています。

令和 5 年度 研修実施報告

	研 修 内 容	対 象 職 員
4 月	倫理及び法令遵守、プライバシー保護の取組	介護職員
5 月	利用者のプライバシーの保護の取組	介護職員
	バーセルインデックス評価研修	介護支援専門員
6 月	高齢者虐待防止に関する研修	全職員
7 月	感染症の予防及びまん延防止に関する研修Ⅰ	介護職員
	感染症予防実技（吐物処理）	介護職員
	全道老人福祉施設研究大会	施設長
8 月	事故予防と緊急時対応	介護職員
9 月	心を軽くするアンガーマネジメント	介護職員
	防災業務関係者研修	施設長
	倶知安保健所感染症予防研修会	看護職員
	北海道高齢者虐待防止推進研修会	介護職員
10月	認知症を和らげる癒しの関わり	介護職員
	ニセコ町地域包括ケア推進研修会	施設長
	感染予防実技（手洗い研修）	全職員
11月	身体拘束防止研修	介護職員
12月	医療連携に必要な知識と技術	介護職員
	認定調査員研修	介護支援専門員
1 月	看取研修	介護職員
	申請取次研修会（特定技能職員受入れ手続き）	事務係長
2 月	ことばの影響	介護職員
	北海道介護ロボット展示セミナー	看護職員 介護職員 事務職員
3 月	精神的ケア	介護職員
	給食担当職員研修会	栄養士
		全職員
毎 月	腰痛予防体操（ヨガ体操）	全職員

ニセコ町デイサービスセンター通所介護事業所 事業報告

(1) 基本方針

今後ますます高まるデイサービス機能の充実に向けて、利用者本位のサービスを基本とし、ご利用される方々の人格を尊重しながら、出来る限り自立した生活を送ることが出来るよう有意義な利用サービスの提供に努めていきます。

1. 利用される方が要支援、要介護状態になった場合に、可能な限り住み慣れたご自宅で自立した生活を営むことが出来るよう心身の機能訓練や生活習慣の自立支援を行い、社会的孤立の解消や心身機能の健康維持並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図ります。

○ケアプランを参考に、利用者や家族の状況をアセスメントし、通所介護計画を作成しサービス提供ができました。

2. 利用者の人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立ったサービスの提供に努めます。
(利用者が主体となるサービスの提供)

○研修を実施し、常に念頭において支援できるよう努めました。

3. 地域との結びつきを重視し、町・福祉関係者・利用者及び家族との連携に努めます。また、地域でのコロナ感染状況を確認しながら、安全な外出機会を見つけます。

○常日頃の情報共有に努めました。また買い物ツアーや、ミルク工房への外出など、町内への外出を楽しむことが出来ました。

(2) 基本計画

1. 介護保険事業（介護給付、日常生活支援総合事業）

①生活相談（相談援助等）

利用者の健康状態及び家庭での生活状況等の把握に努め、ご利用される方やそのご家族様が気軽に相談できる体制作りに努め、信頼される相談業務を行ないます。

○連絡ノートの活用や、電話連絡、送迎時など、その時の最善な手段でご家族とお話しできるよう努めました。利用者の相談は、利用時間内に解決の方向性をもてるように支援しました。

②機能訓練（日常動作訓練）

利用者の身体状況に合わせた訓練を基本とし、レクリエーション的メニューを中心にリハビリの充実に努めると共に、楽しく参加できる雰囲気を作り、利用される方の身体機能の低下の予防と自立的意欲を促します。

また、町保健福祉課や包括支援センターと協力し、訪問リハビリによるリハビリテーション専門職からの専門的指導を受け、個別メニューを作成、定期的に評価することで、個別的リハビリの充実に努めます。

○日替わりの体操メニューで飽きずに参加できるよう努めました。個別運動メニューの見直しや、新規利用者様の個別運動メニューの作成など、訪問リハビリを有効活用できました。

2. 生きがい活動支援通所事業（受託事業）

- ①自宅に閉じこもりがちなお高齢者に対して、日常動作訓練、趣味活動、食事、入浴等のニーズに応じた生きがい活動を支援します。
- ②介護予防を推進して簡単な筋力トレーニングの指導や、必要に応じて栄養指導等を行い、自立した生活が継続できるよう支援します。
- ③外出支援サービス事業として、ご利用者様の自宅とデイサービスセンター間を送迎し、定期的な外出機会を作り、デイサービスセンターでの交流を推進します。

○対象者がいない為未実施。

3. 介護サービス

①送 迎

利用者のご自宅からデイサービスセンターまでの交通安全に努め、乗車中、乗降中の安全確保に万全を期します。

○介護員が同乗し送迎に対応する体制で安全を確保しました。

②入 浴

利用者の身体状況及び希望に沿った入浴方法（一般浴、介助浴、車椅子浴、個浴等）を考慮するとともに、健康状態に十分留意し、安全且つゆったりした入浴ができるよう努めます。

○その時の身体状況に応じた入浴方法で支援できました。

③食 事

利用者の嗜好及び栄養のバランスに配慮した献立づくりに努めます。利用者の状況に応じて、食事形態の等の配慮を行う。また、季節毎に四季折々が感じられる食事を提供し、楽しく食事が出来るように努めます。

○管理栄養士と連携しながら対応できました。調理活動で季節料理を実施し喜んでいただきました。

④健康状態の確認

利用時には、血圧測定、検温、問診を行い、利用者の健康状態を把握し、状況に応じた処置、健康指導を実施すると共に、必要に応じて、病院や家族へ連絡し、適切な対応を行なうなど、利用者の健康管理に努めます。

○平常時の健康状態を把握し、少しの変化を察知できるよう努め、ご家族様や担当ケアマネジャーに報告相談することができました。

⑤排 泄

利用されている時はもちろん、自宅での状況把握にも努め、必要時には適切な方法の助言、オムツやパット等の用品に関する相談に応じ、快適な生活を送ることが出来るよう支援します。

○状況を確認しながら家族やケアマネジャーと対応方法を相談しました。

⑥口腔ケア

昼食前の口腔体操や、昼食後の歯磨きが習慣化されていない方へ、食後のお茶を提供することで、口腔機能の維持向上や誤嚥性肺炎の予防の一助となるように努めます。要望に応じて、歯磨きの方法や用具の相談に対応し、口腔内の清潔を保てる支援を行います。実践を通して、口腔内の健康が保てる支援を行います。

○食事前の口腔体操を継続し、機能維持を目指しました。

⑦自立支援

利用時に介助が必要な状況においては、出来る限り自分で行っていただけるように環境や用具を創意工夫するなどし、必要最低限の介助を心掛け、自尊心への配慮と残存機能の維持、向上に努めます。

○利用者の身体機能や特性などを考慮し、ご自身で行って頂く事、介助をする事を見極め支援しました。

(3) 今年度の重点課題

1. 個別プログラムの充実（生きがいアクティビティ）

全体で行うレクリエーションやリハビリ体操と並行して個別または少人数で行う様々な活動（趣味活動・身体の機能回復メニューなど）を充実させ、利用される方々が有意義な時間を過ごすことが出来るよう個々人のニーズにあった日課の充実を図ります。

○コサージュ作り、ハイツのウエス切り、デイの植木の整備、チラシでゴミ箱作り、脳トレゲーム、塗り絵、花札、麻雀、読書、習字など様々な取り組みを行い有意義な時間となるよう支援しました。今後も利用者の意向を伺いながら、充実した時間となるよう努めていきます。

2. 職員の資質の向上

①職員研修の充実

デイサービスセンターの職員としての専門性を高め、より良いサービスが提供でき、利用者及び家族から安心と信頼が得られるよう職員研修を行います。

○月1回のWEB研修を行いました。

②認知症ケアの充実

職員個々が認知症についての知識を十分に理解し、個別的なケアを充実させ、認知症の方々に対して介護、接遇の習得に努めます。

○研修での学習と、ミーティングで個別ケアを検討し、よりよい接遇を目指しています。

③介護接遇マナーの向上

利用される方々の満足度の向上のため、職員が介護接遇にあたる際には言動・行動が利用者に不快感を与えないよう、良識ある介護接遇マナーの向上に努めます。

○研修課題とし自分の言動を振り返る機会としました。

④自立支援ケアの充実

利用者がその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことが出来るよう様々なプログラム作りを充実させ、日常生活動作の維持又は向上に努めます。

○家事作業に偏りがちのため、日常生活上の課題の把握に努め、プログラム作成に活かしていきます。

3. 地域との連携強化

コロナ禍で感染予防を行いながら、必要に応じて利用者本人や家族の自宅へ訪問し、介護全般について知識や技法の助言を行います。

○退院後は訪問し状態確認を行い、相談や助言を行いました。また、送迎時や連絡ノートで連携共有に努めました

4. 地域貢献事業への取り組み

地域に貢献できる活動を模索し、デイサービスセンターでの活動内容を地域に啓蒙するなど、開かれた施設運営に努め、利用者の励みや生きがいとなる活動を積極的に展開します。

○宣伝版掲示の継続、広報への記事掲載、経営改善の助言によりパンフレットの全戸配布など啓蒙活動を行いました。あそぶつくへの手作りしおり、ニセコ高校へのコサージュ寄贈の継続、交通安全グッズの進呈、近藤小学校へ雑巾寄贈など、地域貢献活動を行いました。

5. 相互利用への取り組み

ニセコ町保健福祉係と連携を図り、障害者の方々のニーズに対応できる、地域福祉の拠点としてのデイサービスセンターの在り方について検討した上で、実践できるよう努めていきます。

○経営改善コンサルティングを実施している中で、地域福祉としてのデイサービスの在り方がみえてくることを期待します。

令和5年度デイサービスセンター事業報告書

令和5年度 要介護度別利用者数（実人員）

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	R4度実績数	増減
4月	15	9	24	8	2	2	0	36	60	54	6
5月	15	9	24	9	2	1	1	37	61	48	13
6月	16	8	21	9	2	1	0	33	57	65	-8
7月	18	8	20	9	2	1	0	32	58	63	-5
8月	18	8	21	9	2	1	0	33	59	62	-3
9月	19	8	21	10	2	1	0	34	61	63	-2
10月	21	8	22	8	2	1	0	33	62	61	1
11月	22	8	21	9	2	1	0	33	63	57	6
12月	24	7	20	11	1	1	0	33	64	57	7
1月	23	6	20	12	1	0	0	33	62	54	8
2月	23	5	22	13	1	1	0	37	65	60	5
3月	23	5	17	12	1	0	0	30	58	59	-1
合計	237	89	253	119	20	11	1	404	730	703	27

令和5年度 要介護度別利用者数（延人員）

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	R4度実績数	増減
4月	54	53	152	63	9	6	0	230	337	173	164
5月	59	52	167	81	13	2	2	265	376	387	-11
6月	59	52	131	89	10	5	0	235	346	349	-3
7月	62	52	112	87	11	4	0	214	328	359	-31
8月	73	50	128	95	13	4	0	240	363	377	-14
9月	74	52	127	91	10	4	0	232	358	357	1
10月	85	55	129	88	9	4	0	230	370	351	19
11月	85	50	138	91	8	2	0	239	374	264	110
12月	89	36	123	92	4	2	0	221	346	301	45
1月	82	31	94	97	4	0	0	195	308	279	29
2月	85	35	108	104	3	1	0	216	336	307	29
3月	91	38	93	106	4	0	0	203	332	378	-46
合計	898	556	1,502	1,084	98	34	2	2,720	4,174	3,882	292

令和5年度 生きがいデイサービス利用実績表

月	在籍者数	利用者数	増減
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	0	0	0
8月	0	0	0
9月	0	0	0
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	0	0	0

令和5年度 行事の実施報告

趣味：趣味活動、料理：料理活動、レク：レクリエーション、行事：季節の行事

月	日	行事内容
4 月	3～7日	料理：春恒例 ふきのとう料理、健康湯：みかんの湯
	10～14日	趣味：色鮮やかな春飾り
	17～21日	レク：るみちちゃんとなんかのレクゲーム、健康湯：どくだみの湯
	24～28日	行事：春のドライブツアー
5 月	1～5日	レク：ビンゴゲーム大会
	8～12日	料理：フキを使って何作ろう？
	15～19日	趣味：ゆら・ゆらモバイルクラフト
	22～26日	レク：ビー玉ゲーム、健康湯：ヨモギの湯
	29～31日	行事：開設記念週間、デイゴルフ場オープン
6 月	1～2日	行事：開設記念週間、デイゴルフ場オープン
	5～9日	料理：ヨモギのおやつを作ろう！
	12～16日	趣味：恒例！案山子作り
	19～23日	レク：お手玉いろいろゲーム！、健康湯：木炭の湯
	26～30日	行事：買い物ツアー
7 月	3～7日	趣味：可愛いうさぎの玄関プレート
	10～14日	レク：楽しくちょいレク！
	17～21日	料理：はじける！！フルーツポンチ
	24～28日	趣味：願いを込めて七夕飾り、健康湯：クールバスクリンの湯
	31日	趣味：花火ボールの吊り飾り
8 月	1～4日	趣味：花火ボールの吊り飾り
	7～11日	料理：冷たく甘い水羊羹
	14～18日	行事：盆踊り週間
	21～25日	レク：入れたら出す、出したら入れるゲーム、健康湯：大根の湯
	28～31日	行事：ミニバーベキュー
9 月	1日	行事：ミニバーベキュー
	4～8日	レク：ビンゴゲーム週間
	11～15日	趣味：チクチク手縫いで小物入れ
	18～22日	行事：敬老秋祭り週間、健康湯：どくだみ
	25～29日	レク：運試しボウリング
10 月	2～6日	趣味：秋の壁画作り
	9～13日	行事：紅葉ドライブツアー
	16～20日	レク：楽しくみんなでゲーム
	23～27日	料理：かぼちゃのおやつ作り、健康湯：木炭の湯
	30～31日	料理：さつもいも料理

11 月	1日	料理：さつまいも料理
	2～3日	行事：ニセコ町文化祭見学
	6～10日	レク：運動会総練習
	13～17日	行事：大運動会
	20～24日	料理：大根を使って…、健康湯：ヨモギの湯
	27～30日	趣味：手縫いでチクチクパートⅡ
12 月	1日	趣味：手縫いでチクチクパートⅡ
	4～8日	趣味：しめ縄飾りを作ろう
	11～15日	レク：年末恒例あのゲーム
	18～22日	行事：クリスマス週間、健康湯：柚子の湯
	27日	行事：餅つき
	25～29日	料理：おしろこ食べよう！
1 月	4～5日、 8～10日	行事：正月週間
	8～12日	料理：酒粕でふわふわおやつ
	11日	行事：鏡開き
	15～19日	レク：年明け！十二支ゲーム
	22～26日	趣味：健康祈願！お守り作り、健康湯：みかん湯
	29～31日	行事：節分週間
2 月	1～2日	行事：節分週間
	5～9日	趣味：ニセコ高校卒業祝いコサージュ作り
	12～16日	趣味：ニセコ高校卒業祝いコサージュ作り
	19～23日	レク：みんなでゲームしましょ！ 健康湯：大根菜の湯
	26～29日	行事：ひな祭り週間
3 月	1日	行事：ひな祭り週間
	4～8日	レク：楽しくレクしましょ！
	11～15日	趣味：入園おめでとうの壁絵作り
	18～22日	料理：おやつクッキング！ 健康湯：みかん湯
	25～29日	レク：ビンゴ大会

令和5年度 研修実施報告

○外部研修

月 日	研 修 名	研 修 地	参 加 者
10月28日	認知症介護基礎研修	E-ランニング	山内介護員

○内部研修

	研 修 内 容	対 象 職 員
4 月	プライバシーの保護、個人情報取り扱いの理解	全職員
5 月	倫理・法令遵守の理解	
6 月	高齢者の虐待防止に関する研修	
7 月	リスクマネジメントの取り組みに関する研修	
8 月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修	
9 月	認知症に関する研修	
10 月	非常災害時の対応に関する研修	
11 月	クレーム・苦情対応に関する研修	
12 月	緊急時対応に関する研修	
1 月	認知症高齢者とのコミュニケーション向上研修	
2 月	介護予防、要介護進行予防に関する研修	
3 月	排泄ケアに関する研修	

令和5年度 居宅介護支援事業所 事業報告

(1) 基本方針

要介護高齢者になっても、住み慣れたご自宅や地域で安心して生活するため、個々の高齢者の状況やその変化に応じた様々な居宅サービスを継続的に提供されるようご利用者様の立場に立って円滑にサービス利用のお手伝いを行い、出来るだけご自宅で自立した生活を実現できるよう支援していきます。

また、ニセコ町地域包括支援センターと協力・連携しながら、介護予防の観点を重視し、要介護状態になる可能性のある高齢者を早期に発見し対応できるように関係機関との連携を強化していきます。

(2) 基本計画

1. 相談業務

利用者や家族等からの相談に対し、状況や変化に応じて介護・医療・保健サービスの紹介や調整を行い、住み慣れたご自宅で、できる限り安心して快適な生活が維持できるよう支援していきます。

新規の利用者や緊急な対応が必要な利用者に対し、地域包括支援センターや居宅サービス提供事業所・病院・介護福祉施設との連携で早期に対応が出来るようにします。

R5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	137	171	180	174	185	170	199	165	152	181	182	152	2,048
新規相談	6	4	3	0	6	11	10	7	5	8	9	3	72

○相談支援業務については日々、電話相談、訪問相談、来所相談を行っています。(昨年度相談件数1,856件、新規相談98件)相談内容としては身体機能、認知機能の低下に伴う本人及びご家族様の介護負担についてや、独居生活を維持していくことへの不安、そのためにデイサービスやショートステイの利用、施設入所への相談が増えてきています。また、病院から退院されて在宅生活を維持していくために介護保険や様々なサービス利用についての調整や相談が多く、今後ますます医療機関との連携が重要になってくるものと思われます。

2. ケアマネジメント業務

要介護の認定を受けたご本人様に対し、本人と家族のご要望をお聞きして状態や変化に応じた様々なサービスが利用できるよう、本人・家族のニーズに合わせた提案を行い、自立支援に向けた居宅介護サービス計画を作成いたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	43	38	43	40	37	37	36	39	36	35	39	36	459
要介護2	13	14	13	13	13	13	18	16	16	15	18	20	182
要介護3	4	4	4	8	3	3	3	3	2	8	2	2	46
要介護4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
要介護5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
月別合計	63	59	62	63	55	55	59	60	56	60	61	60	713

○新規、更新、計画変更時は適切にケアマネジメント業務を行い、今年度の総実績数は713件で昨年比+87件(昨年度実績数626件)です。職員の異動等はなく、年度当初から職員2名体制となっています。今後においても、新規、更新、計画変更時は常にケアプランの見直しを行い、適切なケアマネジメント業務を行っています。

3. 介護予防ケアマネジメント業務

要支援の認定を受けた本人に対し、本人と家族のご要望をお聞きし、必要な介護予防事業が利用でき、元気に住み慣れた自宅で生活が維持できるよう、自立支援に向けた介護予防プランを作成し、地域包括支援センターや関係機関と協力・連携しながら支援します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	6	6	7	6	7	7	6	7	7	6	8	79
要支援2	6	7	7	7	7	7	6	6	5	5	5	5	73
月別合計	12	13	13	14	13	14	13	12	12	12	11	13	152

○今年度もニセコ町地域包括支援センターと連携し、可能な限り新規の受け入れを行い、今年度の総実績数は152件で昨年比△27件(昨年度実績数179件)となっています。今後においても、新規、更新、計画変更時は常に予防ケアプランの見直しを行い、適切なケアマネジメント業務を行っていきます。

4. 介護予防・日常生活支援総合事業への協力

ニセコ町地域包括支援センターで進めていく日常生活支援総合事業に協力すると共に、調査訪問時等に制度や事業の周知を図ります。また、口腔ケア・筋力強化・食生活の改善等の助言を行い、介護予防の啓発に努めます。

○訪問時に随時、ニセコ町及びニセコ町社協が取り組む介護予防事業(リハビリ訪問、貯筋教室、サロン等のインフォーマルサービス)について説明し、必要に応じて参加を勧めるなどの働きかけを行っています。

5. 認知症高齢者とその家族への支援

2ヶ月に1回、俱知安厚生病院精神科医師等の協力を得て、認知症高齢者の介護経験のある家族と現在認知症高齢者を介護されている家族対象の学習会・家族交流会に参画し、介護を続けられている家族の支援を行っています。

○今年度は、俱知安厚生病院精神神経科、土田正一郎医師、俱知安厚生病院地域連携室、大井看護師のご協力をいただき、7月と11月に「認知症家族交流会」を開催し、19名(ご家族様3名)の参加となっています。

相談内容については、認知症状から現れる周辺症状やその対応についての相談を受け、医療や介護の専門的見地から適切な助言を行っています。また、昨年度から始めた「介護相談会」を年間4回実施しています。ニセコ町民センターにて、相談窓口を設置し、介護全般に関わる相談受付、介護用品の展示、地域の社会資源の紹介を行い、広く町民の皆様のニーズにお応えできるよう実施しています。

これからも地域包括支援センターや各関係機関と連携し、本人及び家族が住み慣れた地域で健やかに生活していくことが出来るよう、事業内容の充実を図るとともに認知症介護交流会、介護相談会のPR活動を継続して行い、多くの方々が気軽に参加出来るよう努めていきます。

6. 職員の資質の向上

介護支援専門員として、公正・中立な立場で利用者の様々な問題に対応できるよう、また要介護状態の悪化防止や介護予防についての適切な助言ができるよう、高齢者の自立支援の専門職としての技術や知識の向上に努めます。

- ① 認定調査員研修
- ② ケアマネジメントに関わる研修
- ③ 介護予防ケアマネジメントに関わる研修
- ④ 認知症に関わる研修

○(3)年間研修実施状況のとおり

7. 苦情相談窓口業務

利用者や家族からの苦情や意見を真摯に受け止め、福祉サービス全体がより一層向上できるように関係機関との意見交換や調整を行い、迅速かつ誠実に必要な対応を行います。

○定期訪問時に本人、家族からお聞きしたご意見、ご要望、苦情については適切に対応し、既存のサービスレベル向上に向けての取り組みを行っています。

(3) 研修実施報告

1. 事業所外研修

月 日	研修名	参 加
令和5年9月15日	羊蹄ケアネットワーク研修会「ACP講座」	田中
令和5年11月17日	後志広域連合主任介護支援専門員研修	本間、田中
令和5年12月5・6日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（在宅編）	本間、田中
令和5年12月14日	第1回ケアマネジメント研修会 「改めて考えよう！ケアプラン作成」	本間、田中
令和6年1月17日	第2回ケアマネジメント研修会 「ケアプランに活かそう！生活リハビリの視点」	本間
令和6年3月20日	「適切なケアマネジメント手法」の手引き 解説セミナー	田中

2. 事業所内（WEB）研修

月 日	研修名	参 加
5/8 9：00～	認知症ケア（NO. 54）	本間、田中
6/8 16：00～	非常災害時の対応（No. 51）（No. 106）	本間、田中
6/9 17：00～	虐待防止に関する理解（No. 48）（No. 103）	本間、田中
7/14 10：00～	緊急時対応の理解（No. 50）（No. 105）	本間、田中
9/12 10：00～	介護予防の理解（No. 43）（No. 97）	本間、田中
2/23 10：00～	認知症の理解・認知症ケアの基本（NO. 108）	本間、田中
2/23 11：00～	認知症の予防とまん延防止（NO. 52）	本間、田中
3/7 14：00～	倫理・法令遵守の理解（NO.45）	本間、田中
3/7 15：00～	プライバシーの保護・個人情報の取り扱いの理解（No. 44）	本間、田中
3/7 15：30～	プライバシーの保護・個人情報の取り扱いの理解（No. 98）	本間、田中
3/27 14：00～	職業倫理の理解と組織倫理への取組（No. 99）	本間、田中
2024/3/28 16:30	法令遵守の理解（No. 100）	本間、田中

3. 他法人と共同で行う事例検討会

月 日	研修名	担当事業所名	参加者
2/29（木） 16：00～17：00	支援困難事例検討会 （ズームリモート研修）	居宅介護支援事業所 ろっかえん	麓華苑ケアマネ3名 本間、田中

ぐる～ふほ～む きら里 事業報告

(1) 基本方針

1. 私たちは一人一人の尊厳を第一にします
ここでいう「尊厳」とは、その方の思い、気持ち、考え、人として、個としての権利です。
2. 私たちは、利用者と「共生」します
きら里での「共生」とは、職員と利用者は、同じ時間を共有し、共に人生の時間を過ごしています。「共に生きる」「共に支えあう」ことを大切にします
3. 私たちは、利用者一人ひとりの思いに寄り添い、尊厳を重んじ、その方の人生を支える介護を目指します。
きら里は、利用者が笑顔で安心して穏やかに暮らせる「みんな家」になることを目指し

(2) きら里のこころえ

1. 言葉遣いは、丁寧に相手を敬う姿勢を大切にします
利用者、家族、職員同士など、どのような関係でも相手を敬い、不快にならない言葉で会話をすることを大切にします。
2. 会話は、相手の気持ちを聴く姿勢を大切にします
相手の目線に合わせ、相手の目を見て、お話しや訴えを傾聴する姿勢を大切にします
3. 関わり合いは、共感する姿勢を大切にします
言葉や会話だけでなく、傍に寄り添う、手をさする、同じものを見て感じる、一緒に作業をすることで、共感しあえる関係を大切にします。
4. 個人を尊重する姿勢を大切にします
できること・できる力を大切にし、相手を信じて寄り添うこと、利用者様の思いや気持ち
5. 気持ちよい、心地よい空間を大切にします
利用者の生活空間に、職員同士の私語、大声、物音、足音など不必要な音を立てないようにする。落ち着ける環境を作ることが大切です。

○丁寧な言葉づかいなど今まで出来ていない職員も気を付けている様子がうかがえ、会話も同じ訴えを繰り返す利用者様にも傾聴するよう心掛け不穩にならないよう努力した。調理の軽作業や行事の際の装飾物を作る際などに利用者様にも一緒に手伝っていただき、利用者様の趣味嗜好に合わせることができること、やりたいことをお手伝いできる範囲で行えるよう寄り添うようにできました。

しかしながら、私語は、気を付けたがつい話してしまうこともあり、大声、物音、足音は、掃除の時間が騒がしく感じるがあった。

(3) 基本計画

1. 介護保険法に基づき、地域密着型サービスとして認知症の高齢者が可能な限り住み慣れた地域の中で「その人らしい」人生が送れるように、24時間・365日、家庭的な環

○季節ごとの行事を企画、開催、誕生日には、その利用者様の担当職員を中心に誕生会の企画、開催、桜や紅葉の季節には、ドライブを企画し外出の機会を作りました。

2. 利用者の尊厳を遵守し、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上の援助及び生活リハビリを行う事により、その人の力に合わせた、その人らしい生活を営むことが出

○毎月のケアカンファレンスの際に話し合い、利用者様の変化に合わせてその人らしい生活ができるようしました。

3. 適切な認知症介護を提供することで、認知症になっても心身ともに健やかで心地よい生活が送れるように支援します。

OWEB研修やインターネットで調べた資料を使い勉強をしました

4. 地域住民との交流や連携を図ることで、地域の社会資源の一つとしての役割を持ち、よりよいまちづくりの為に発信基地となります。

○感染対策などもあり地域住民との交流は行えていません。

(4) 介護計画

1. 本人が自分らしい生活を送るための支援の仕方について、本人、家族と十分な話し合いを持ち、ホームでの生活が本人にとって安心できる生活が営める介護計画を計画作成担当者中心に作成します。

○6ヶ月もしくは、1年に1度、ケアプランの見直しを行い、毎月のケアカンファレンスで話し合い利用者様やご家族とも話、ケアプランを作成しました。

2. 作成されたケアプランのもと、適切な支援を行うことで「その人らしさ」や「質の高い生活」「人間の尊厳」を守ります。そのためにケアスタッフのサービスの質の確保、向上を目指します。

○外部研修への参加が出来ていないが内部研修、WEB研修を年間通して実施しました。

3. 職員が当ホームの理念に向けて専門性を持って働ける組織をつくりまします。

①グループホームの方針を実際のケアに活かすため全体会議、ユニット会議の充実を図ります。また、法令上定められた研修についてもこの会議運営で行います。

○全体会議では、ユニット会議や両ユニットの情報共有やインターネットで調べた認知症介護の資料を使いケアに活かせるように努力しました。

②認知症ケアの専門性やグループホーム運営に必要なより高い専門性を獲得するために、集合研修や個々の職員に必要とされる研修について計画化し実施します

○認知症実践者研修に参加資格のある介護員の参加を計画しましたが定員漏れのため参加できませんでした。

③職員間の報告、連絡、相談の連携を図り、確実なサービスが提供できるようにします。

○連絡ノートを使い普段の些細なことも周知できるようにし会議等の資料や議事録等は、全員が読んだことが解るようチェック表を付けて確認できるようにしました。

4. 法人内や他の事業所との連携を図り、利用者へのサービスをさらに広げるための協力体制を作ります。

①グループホーム地域運営推進会議は、事業者、家族代表者、地域代表者、地域包括等の方々をメンバーに事業所運営やサービス内容等を報告し、広くご意見をいただく機会です。また地域とともにあるグループホームの様々な活動に参加していただきながら、地域に根差し、共によりよい住みやすいまちづくりを進めていけるよう協力していきます。積極的に情報の発信を行い地域に信頼される事業所を目指します。

○今年度は、7月より2ヶ月に1度、運営推進会議の開催をしました。

②法令を遵守するとともに、個人情報の保護に留意し、情報提供及び情報開示、並びに説明責任を果たします。

○入所契約の際に個人情報の使用に関する説明を行い同意していただき同意書に署名、押印をしていただきました。

5. サービスの提供にあたっては、計画作成担当者がその内容について利用者とその家族に対して説明し同意を得て作成し、当該計画を作成した際には必ず交付します。

○入所時と見直しの時期に作成し、ご家族に説明し同意を得て署名、押印をしていただき交付しました。

6. 利用者の権利とプライバシーを尊重し、個人情報の保護に努めます。

○会議や職員間の情報共有以外での保護に努めました。

7. 利用者の人権擁護・自己実現の視点から身体拘束廃止、虐待防止、事故予防を重視します。

○事故予防は、ユニット会議や運営会議の際に事故報告の内容を精査し今後の事故防止に努め、身体拘束廃止、虐待防止は、身体拘束等対策委員会、身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会で身体拘束や虐待の有無を報告、防止に努め、今年度の身体拘束や虐待はありませんでした。

8. 福祉サービス第三者評価、介護サービス情報公開制度により客観的な評価を受け、改善内容について積極的に取組み、サービスの質の向上に努めます。

○福祉サービス評価機構Kネットで外部評価を実施しました。

(5) 今年度の重点課題

1. 認知症の進行による身体機能の低下、重度化への対応

①状況の変化時の速やかなアセスメント

○毎月のケアカンファレンスや状況の変化に応じて話し合いをして必要に応じて主治医とも相談しながら住み替えの検討をしました。

②サービス、ケア内容の検討と調整

○ケアプランの見直しの時期や毎月のケアカンファレンスで話し合いをしました。

③身体機能に応じたケアの組み立て（ハード面を含む）

○身体状況に応じて歩行器や介護用ベッド等が必要か話し合いご家族に相談しながら行いました。

④主治医、家族との相談援助、連絡調整

○受診時に主治医への手紙の作成や体調不良時は、ご家族へ連絡、報告を行い必要時には、受診の付き添いを行った。

⑤認知症の症状に対応する質の高いケアの習得（研修参加を含む）

○WEB研修やインターネットで調べた資料を使い勉強しました。外部の研修には、参加していません。

2. 感染症の早期発見、早期対応、拡散防止、感染対策の見直し

①館内環境の整備（室温・湿度・換気・衛生）

②感染症発症時の早期予防対策

③感染症重度化の防止対策

④感染症拡散の防止対策

○感染対策会議等で日々の感染症の流行に合わせその時々に見合う感染対策を話し合い感染症に合わせたマニュアルを作成しマニュアルに沿いながら発見、対応、防止、対策を行った。

令和5年度 ぐる～ぷほ～むきら里事業報告
令和5年度 月別入所者数

(人)

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
要介護1	11	12	12	12	12	10	10	10	7	7	8	8	119
要介護2	6	6	5	5	4	6	6	6	8	8	8	7	75
要介護3	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	16
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	17	214
介護度	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.5	1.5	1.5

※定員18名越えは入退所の重複

令和5年度 月別利用実績

(延人)

介護度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援2	30	0	0	0	0	0	0	0	0	5	29	31	95
要介護1	323	346	360	372	372	300	308	300	217	217	232	248	3,595
要介護2	180	186	150	155	124	180	186	156	248	248	207	199	2,219
要介護3	0	0	30	31	62	60	62	60	62	42	29	31	469
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	533	532	540	558	558	540	556	516	527	512	497	509	6,378
稼働率 (%)	95.5	95.3	96.8	100	100	96.8	99.6	92.5	94.4	91.8	89.1	91.2	97.1

令和5年度 年間行事実績報告書

	行 事 内 容
4 月	お誕生日会
5 月	子供の日、母の日、お誕生日会
6 月	父の日
7 月	開設記念祝い、花火大会、誕生日会
8 月	七夕納涼祭、お誕生日会
9 月	敬老会、収穫祭、お誕生日会
10 月	紅葉ドライブ、お誕生日会
11 月	お誕生日会
12 月	クリスマス会、年越し、お誕生日会
1 月	お正月、お誕生会
2 月	節分、お誕生会
3 月	ひな祭り、お誕生会

【ニセコ町幼児センターとの交流】

○感染対策の一環で交流しませんでした

【地域向け講習会】

・地域向け講習会（ニセコ町役場、ニセコ福祉会居宅支援事業所開催）の参加

○地域包括ケアシステム講習へ参加しました

令5年度 研修実施状況

		研 修 内 容	対象職員
	5 月	高齢者虐待防止・身体拘束廃止に関する研修	全職員
	6 月	ハラスメント防止研修	
	7 月	感染症及び食中毒・予防に関する研修	
	8 月	事故発生予防・再発防止等安全対策に関する研修	
	9 月	プライバシー保護・個人情報の取り扱いの理解	
	10 月	介護職に必要な疫病等に関する研修、救命救急講習	
	11 月	苦情に関する研修	
	12 月	救急救命講習	
	1 月	認知症研修	
	そ の 他	感染対策の実技研修	

※WEB研修・内部研修で実施

令和5年度

各 会 計 決 算 報 告 書

資 金 収 支 合 計 表 P. 1 ～ 2

事 業 活 動 収 支 合 計 表 P. 3 ～ 4

貸 借 対 照 表 P. 5

財 産 目 録 P. 6

社会福祉法人 ニセコ福祉会

各サービス区分 資金収支合計表

令和5年度

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

サ ー ビ ス 区 分	収 入 総 額	支 出 総 額	差 額 残 高	備 考 (当期末支払資金残高)
法 人 本 部	40,327,124	40,327,509	△ 385	1,882,989
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	247,493,556	228,165,171	19,328,385	49,652,582
短 期 入 所 生 活 介 護	10,197,954	10,197,954	0	3,728,913
デ イ サ ー ビ ス	47,307,143	47,307,143	0	12,228,256
居 宅 支 援 事 業 所	13,815,818	13,815,818	0	3,886,425
ぐる～ぷほ～むきら里	88,339,993	88,339,993	0	12,652,340
合 計	447,481,588	428,153,588	19,328,000	84,031,505

各サービス区分 事業活動収支合計表

令和5年度

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

サ ー ビ ス 区 分	収 入 総 額	支 出 総 額	差 額 残 高	備 考 (次期繰越活動増減差額)
法 人 本 部	40,327,124	40,176,542	150,582	1,616,256
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	244,608,066	220,109,442	24,498,624	73,133,050
短 期 入 所 生 活 介 護	10,197,954	8,514,235	1,683,719	8,649,960
デ イ サ ー ビ ス	47,307,143	47,373,614	△ 66,471	33,805,075
居 宅 支 援 事 業 所	13,815,818	14,012,394	△ 196,576	4,621,522
ぐる～ぷほ～むきら里	88,088,688	88,511,549	△ 422,861	11,613,200
合 計	444,344,793	418,697,776	25,647,017	133,439,063

資 金 収 支 明 細 書

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

勘 定 科 目			法 人 本 部	ニセコハイツ	短 期 入 所 生 活	デ イ サ ー ビ ス	居 宅 介 護	き ら り	合 計
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入		181,687,976	3,653,944	29,884,534	9,875,640	76,657,458	301,759,552
		その他事業収入	650,000	13,633,866			3,276,000	11,426,900	28,986,766
		借入金利息補助金収入							0
		経常経費寄附金収入	1,150,000						1,150,000
		受取利息配当金収入	383	333	10	271	46	151	1,194
		その他の収入	423,659	1,179,160		18,210		4,179	1,625,208
		事業活動収入計	2,224,042	196,501,335	3,653,954	29,903,015	13,151,686	88,088,688	333,522,720
		人件費支出	24,913,312	112,153,226		20,591,383	11,069,141	57,253,431	225,980,493
	支出	事業費支出		51,923,605		9,634,379	1,024,943	11,484,481	74,067,408
		事務費支出	2,188,457	18,006,392	385	2,936,851	431,620	5,694,799	29,258,504
		支払利息支出							0
		その他の支出							0
		事業活動支出計	27,101,769	182,083,223	385	33,162,613	12,525,704	74,432,711	329,306,405
		事業活動資金収支差額	△ 24,877,727	14,418,112	3,653,569	△ 3,259,598	625,982	13,655,977	4,216,315
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入		19,877,000	3,684,000	572,000			24,133,000
		施設整備等収入計	0	19,877,000	3,684,000	572,000	0	0	24,133,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出							0
		固定資産取得支出	183,000	27,792,893	5,404,667	753,500			34,134,060
		ファイナンスリース債務の返済支出							0
		施設整備等支出計	183,000	27,792,893	5,404,667	753,500	0	0	34,134,060
	施設整備等資金収支差額	△ 183,000	△ 7,915,893	△ 1,720,667	△ 181,500	0	0	△ 10,001,060	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	12,450,000	2,885,490	2,860,000	10,790,000		151,305	29,136,795
		拠点区分間長期借入金収入						100,000	100,000
		拠点区分間長期貸付金回収収入							0
		拠点区分間繰入金収入	25,653,082	12,450,000					38,103,082
		サービス区分間繰入金収入		15,779,731		6,042,128	664,132		22,485,991
		その他活動による収入							0
		その他の活動収入計	38,103,082	31,115,221	2,860,000	16,832,128	664,132	251,305	89,825,868
	支出	積立資産支出	592,740	1,871,065		292,260	264,000	1,003,985	4,024,050
		拠点区分間長期借入金返済支出						100,000	100,000
		拠点区分間繰入金支出	12,450,000	16,417,990		2,308,770	1,026,114	5,900,208	38,103,082
		サービス区分間繰入金支出			4,792,902	10,790,000		6,903,089	22,485,991
		その他の活動支出計	13,042,740	18,289,055	4,792,902	13,391,030	1,290,114	13,907,282	64,713,123
		その他の活動資金収支差額	25,060,342	12,826,166	△ 1,932,902	3,441,098	△ 625,982	△ 13,655,977	25,112,745
当期資金収支差額合計		△ 385	19,328,385	0	0	0	0	19,328,000	
前期末支払資金残高		1,883,374	30,324,197	3,728,913	12,228,256	3,886,425	12,652,340	64,703,505	
当期末支払資金残高		1,882,989	49,652,582	3,728,913	12,228,256	3,886,425	12,652,340	84,031,505	

事業活動明細書

(自 令和5年4月1日 ～ 至 令和6年3月31日)

勘定科目		法人本部	ニセコハイツ	短期入所生活	デイサービス	居宅介護	きらり	合計	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益		181,687,976	3,653,944	29,884,534	9,875,640	76,657,458	301,759,552
		その他事業収益	650,000	13,633,866			3,276,000	11,426,900	28,986,766
		経常経費寄附金収益	1,150,000						1,150,000
		その他の収益		1,083,134					1,083,134
		サービス活動収益計	1,800,000	196,404,976	3,653,944	29,884,534	13,151,640	88,084,358	332,979,452
	費用	人件費	25,319,752	111,089,401		21,069,863	11,336,141	58,069,211	226,884,368
		事業費		51,923,605		9,634,379	1,024,943	11,484,481	74,067,408
		事務費	2,188,457	18,006,392	385	2,936,851	431,620	5,694,799	29,258,504
		減価償却費	218,333	14,214,913	1,187,975	8,161,992	556,193	20,568,947	44,908,353
		国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 11,419,859	△ 1,151,027	△ 8,100,241	△ 362,617	△ 20,109,186	△ 41,142,930
		サービス活動費用計	27,726,542	183,814,452	37,333	33,702,844	12,986,280	75,708,252	333,975,703
	サービス活動増減差額		△ 25,926,542	12,590,524	3,616,611	△ 3,818,310	165,360	12,376,106	△ 996,251
サービスの活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益							0
		受取利息配当金収益	383	333	10	271	46	151	1,194
		その他のサービスの活動外収益	423,659	96,026		18,210		4,179	542,074
		サービスの活動外収益計	424,042	96,359	10	18,481	46	4,330	543,268
	費用	支払利息	0	0	0	0	0	0	0
		その他のサービスの活動外費用	0	0	0	0	0	0	0
		サービスの活動外費用計	0	0	0	0	0	0	0
		サービスの活動外増減差額		424,042	96,359	10	18,481	46	4,330
経常増減差額		△ 25,502,500	12,686,883	3,616,621	△ 3,799,829	165,406	12,380,436	△ 452,983	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益		19,877,000	3,684,000	572,000			24,133,000
		拠点区分間繰入金収益	25,653,082	12,450,000					38,103,082
		サービス区分間繰入金収益		15,779,731		6,042,128	664,132		22,485,991
		拠点区分間固定資産移管収益							0
		サービス区分間固定資産移管収益							0
		特別収益計	25,653,082	48,106,731	3,684,000	6,614,128	664,132	0	84,722,073
	費用	固定資産売却損・処分損							0
		国庫補助金等特別積立金取崩額							0
		国庫補助金等特別積立金積立額		19,877,000	3,684,000	572,000			24,133,000
		拠点区分間繰入金費用	12,450,000	16,417,990		2,308,770	1,026,114	5,900,208	38,103,082
		サービス区分間繰入金費用			4,792,902	10,790,000		6,903,089	22,485,991
		拠点区分間固定資産移管費用							0
		サービス区分間固定資産移管費用							0
		特別費用計	12,450,000	36,294,990	8,476,902	13,670,770	1,026,114	12,803,297	84,722,073
特別増減差額		13,203,082	11,811,741	△ 4,792,902	△ 7,056,642	△ 361,982	△ 12,803,297	0	
当期活動増減差額		△ 12,299,418	24,498,624	△ 1,176,281	△ 10,856,471	△ 196,576	△ 422,861	△ 452,983	
前期繰越活動増減差額		1,465,674	48,634,426	6,966,241	33,871,546	4,818,098	12,036,061	107,792,046	
当期末繰越活動増減差額		△ 10,833,744	73,133,050	5,789,960	23,015,075	4,621,522	11,613,200	107,339,063	
その他積立金取崩額		12,450,000		2,860,000	10,790,000			26,100,000	
その他積立金積立額				0	0			0	
次期繰越活動増減差額		1,616,256	73,133,050	8,649,960	33,805,075	4,621,522	11,613,200	133,439,063	

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減	科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	128,875,223	94,438,586	34,436,637	流動負債	52,841,538	37,816,281	15,025,257
現金預金	55,614,749	44,789,918	10,824,831	事業未払金	9,277,367	8,728,026	549,341
事業未収金	41,823,212	43,412,061	△1,588,849	その他の未払金		30,000	△30,000
未収金	580,164	275,146	305,018	1年以内返済予定リース債務			0
未収補助金	22,109,000	3,377,000	18,732,000	未払費用	32,656,507	19,242,805	13,413,702
未収収益	8,383,549	2,135,189	6,248,360	預り金	2,042	511,566	△509,524
立替金	364,549	435,000	△70,451	職員預り金	2,907,802	1,222,684	1,685,118
前払金		14,272	△14,272	賞与引当金	7,997,820	8,081,200	△83,380
仮払金			0				0
固定資産	383,422,433	419,465,811	△36,043,378	固定負債	32,667,715	31,836,800	830,915
基本財産	260,029,296	285,389,875	△25,360,579	リース債務			0
土地	8,198,000	8,198,000	0	退職給付引当金	32,667,715	31,836,800	830,915
建物	251,831,296	277,191,875	△25,360,579	負債の部合計	85,509,253	69,653,081	15,856,172
その他の固定資産	123,393,137	134,075,936	△10,682,799	純 資 産 の 部			
建物	6,901,682	7,863,593	△961,911	基本金	13,452,900	13,452,900	0
構築物	3,559,632	8,417,008	△4,857,376	第一号基本金	13,452,900	13,452,900	0
建物付属設備	19,443,351	22,975,576	△3,532,225	国庫補助金等特別積立金	275,229,440	292,239,370	△17,009,930
車輛運搬具	13	13	0	その他の積立金	4,667,000	30,767,000	△26,100,000
器具及び備品	50,464,984	24,580,188	25,884,796	人件費積立金	4,187,000	22,477,000	△18,290,000
権利	3	3	0	施設整備等積立金	200,000	4,010,000	△3,810,000
ソフトウェア	5,678,757	7,625,755	△1,946,998	備品等購入積立金	280,000	4,280,000	△4,000,000
無形リース資産			0				
投資有価証券	10,000	10,000	0	次期繰越活動増減差額	133,439,063	107,792,046	25,647,017
退職給付引当資産	32,667,715	31,836,800	830,915	(うち当期活動増減差額)	△452,983	7,106,984	△7,559,967
その他の積立資産	4,667,000	30,767,000	△26,100,000	純資産の部合計	426,788,403	444,251,316	△17,462,913
資産の部合計	512,297,656	513,904,397	△1,606,741	負債及び純資産の部合計	512,297,656	513,904,397	△1,606,741

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

社会福祉法人 ニセコ福祉会

<u>資 産 の 部</u>			
1.	流 動 資 産	128,875,223	円
	現 金 預 金	55,614,749	円
	事 業 未 収 金	41,823,212	円
	未 収 金	580,164	円
	未 収 補 助 金	22,109,000	円
	未 収 収 益	8,383,549	円
	立 替 金	364,549	円
	前 払 金		円
	仮 払 金		円
2.	固 定 資 産	383,422,433	円
	基 本 財 産	260,029,296	円
	土 地	8,198,000	円
	建 物	251,831,296	円
	その他の固定資産	123,393,137	円
	建 物	6,901,682	円
	構 築 物	3,559,632	円
	建 物 付 属 設 備	19,443,351	円
	車 輜 運 搬 具	13	円
	器 具 及 び 備 品	50,464,984	円
	権 利	3	円
	ソ フ ト ウ ェ ア	5,678,757	円
	投 資 有 価 証 券	10,000	円
	退 職 給 付 引 当 資 産	32,667,715	円
	そ の 他 の 積 立 資 産	4,667,000	円
資 産 合 計		512,297,656	円
<u>負 債 の 部</u>			
1.	流 動 負 債	52,841,538	円
	事 業 未 払 金	9,277,367	円
	未 払 費 用	32,656,507	円
	預 り 金	2,042	円
	職 員 預 り 金	2,907,802	円
	賞 与 引 当 金	7,997,820	円
2.	固 定 負 債	32,667,715	円
	リ ー ス 債 務		円
	退 職 給 与 引 当 金	32,667,715	円
負 債 合 計		85,509,253	円
差 引 純 資 産		426,788,403	円